



伏黒出張所タイムズ

Vol. 07
(H17. 8. 11発行)

阿武隈川に関する河川伝統工法検討会(第2回)

施工前

7月29日に、伝統工法である粗朶沈床を用いて施工した鎌田地区の護岸工事について検討会を開催しました。この粗朶沈床は、現在は陸上で粗朶を組み立ててクレーンで設置する工法が主流となっていますが、当地区においては昔ながらの水上で組み立て施工するものとしています。

第1回検討会(H17.2月)においては、構造の根拠や施工方法、施工手順などについて活発な議論が交わされ、その中で出た意見や提案などを参考にしながら工事を着工し、6月に工事が無事完了しました。

今回の検討会では、工事の施工内容を一通り確認した上で、施工方法の改善点や伝統工法の記録、及び今後のモニタリング調査などについて議論が交わされました。今秋には、当箇所の上流側を施工予定です。



施工後



粗朶沈床は、以下のような効果が期待されます。

- ①柔軟性に富んでいるため、河床の変動に追従するので高い根固め効果が得られます。
- ②素材間の隙間が多様となるため、魚類や底生生物の生息箇所になります。
- ③自然と調和した景観を維持します。



検討会の様子です。出された様々な意見は、今後の施工や管理に活かします！

河川愛護活動に感謝状を贈呈しました

平成16年度の河川愛護モニター任期終了に伴う感謝状の伝達と、阿武隈川の水生生物による簡易水質調査に協力していただいた団体に対して事務所長表彰を行いました。

●愛護モニターで感謝状を受けた方

梁川町 遠藤 順男さん
福島市 大内 昭夫さん
福島市 宍戸 加代子さん

●河川愛護団体表彰を受けた団体は

福島市立福島第一中学校の皆さん
福島市立福島第二中学校の皆さん
福島市立福島第三中学校の皆さん
福島市婦人団体連絡協議会の皆さん



表彰式の様子です



水生生物調査を実施しました☆

川の中には色々な生きものが住んでいます。特に、カゲロウやサワガニなど、川底に住んでいる生きものは、水のきれいさの程度(水質)を反映したものとなっています。

従って、どのような生きものが住んでいるか調べることによって、その地点の水質を知ることができます。伏黒管内では、8/2に荒川・須川合流点、8/4に阿武隈川の鎌田大橋上流にて水生生物調査を行いました。

荒川では綺麗な川に生息するヘビトンボなどが見られましたが、阿武隈川ではヒルやミズなど少し汚い川に生息する生き物が見られました。

福島第一中学校の生徒さんです！



どんな生き物があるのかなあ??

福島第三中学校の生徒さんです！



※天神橋下流、渡利大橋下流の阿武隈川でも8月中旬に水生生物調査の実施を予定しています(°o°)/

樋管水路周辺などに安全対策を実施しました

樋管の水路部などは落差があり、川辺で遊ぶ際には注意が必要な箇所もあります。

このため、水辺の利用が増える夏休みを前に安全対策を講じ、転落注意の看板を設置しました。

皆さん、川で遊ぶ際には十分に注意して下さいね♪

おちるよ
ちゅうい



国土交通省 福島河川国道事務所 伏黒出張所



安全できれいな阿武隈川の実現を目指す
伏黒出張所へようこそ！

〒960-0502 伊達郡伊達町大字箱崎字中32-1

電話024-583-3233

事務所HP: <http://www.fks-wo.thr.mlit.go.jp/>

